

2022年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科											
ボランティア 2											
対象	2 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	森永直樹／鈴木裕大／東 浩平 佐藤礼央／嶋田円歌／中里哲也			実務 経験	無	職種	教員				
担当教員紹介											
森永直樹：音楽業界経験者で数多くのアーティストマネジメントを担当。時事問題や経済に詳しい。 鈴木裕大：ホテルやゲストハウスにて演出業務を中心に従事し、培った接客営業スキルでサービス業を得意とする。 東 浩平：ホテルやコンサート現場での照明業務に従事。技術者としてだけでなくプランナーとしても活躍。 佐藤礼央：映画や企業プロモーションの音楽・映像制作に携わる。読書家であり文章力と語彙力を学生指導に活かす。 嶋田円歌：大学で照明・舞台を専攻し、音楽業界ではアーティストマネジメントを担当。就職関連の指導を強みとしている。 中里哲也：音響技術者としてコンサート現場で実績を積む。楽器に関する知識も深く、ステージ業務の指導を強みとしている。											
授業概要											
地域連携と地域貢献が目的である。自身の生活する地域社会において起こる社会問題や課題の解決に対して、単に行政や他者に求めるだけではなく、自分自身が自発的・主体的に関わる事で深い理解を示す。 また参加する事で従来にない新たな活動を展開する“先駆性”を生み出し、“受ける側”の個々のニーズに対応できる“個別性”を実現する。											
到達目標											
単純に参加するだけでは無く、地域の特性、その参加者の年齢層や男女比など総合的に理解したうえで地元住民との話し合いを経て最高のパフォーマンスが発揮できる状況を作り出す。地域の参加者にとっては新たな刺激を受け、参加する学生達は感謝される喜びや奉仕の精神について学び人々との結びを学ぶ。											
授業方法											
大田区からの依頼を中心に展開して行く。引率教員を中心にチームを組み、より深く地域社会との繋がりを持つことが目的なので催事、イベントへの参加者の意図を組みながら学生の持つスキルの向上にも努め、双方の向上に繋げる。											
成績評価方法											
レポート 平常点	60％ 10％	取り組み内容を取りまとめて提出 積極的な取り組み姿勢									
履修上の注意											
地域、学生どちらか一方の主張が強くなりすぎない様に話し合いの機会を設けて双方の理解を深めてのぞませる事。小さな子供からお年寄りまで幅広い年齢に対応するため言葉使いや接する態度などを事前に認識してのぞむ事。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。											
教科書教材											
必要に応じて配布する											
回数	授業計画										
第1回	事前打合せ催事のテーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる										
第2回	事前準備事前調査によって整理した情報を他者と共有する										
第3回	催事への参加知的好奇心をもつてのぞみ、見識を深め、催事テーマについて深層まで探究することができる										
第4回	参加状況のまとめ催事内容を振り返り、新たな発見や自信のスキルを認識することができる										
第5回	結果報告・レポート作成結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる										